

ツクシタンポポ

Taraxacum kiushianum

キク科

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 IB



丘陵地から山地の路傍や林縁に生える多年草。葉は茎からロゼット状に広がる。4～5月、花柄を伸ばして1個の頭花をつける。総苞はカンサイタンポポに比べがちりとして幅広く、外片は内片の2分の1の長さ。花は黄色。生育地は限られ、個体数は極めて少ない。植生遷移による環境の変化や帰化種セイヨウタンポポの侵入で生育地が狭くなり、絶滅の危険性が高くなっている。基準標本産地は「耶馬溪町川原口」。

(写真：荒金正憲 文：真柴茂彦)

県内分布 (耶馬溪地区)、明珠丘陵地・山地、九重火山群、由布・鶴見火山群
分布域 四国、九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)